

文化活動・交流の拠点

ふれあい倉庫「赤れんが6号」

## 【多目的ホール】

当別・新篠津創意工夫展

▼日時 9月12日(水)・13日(木) 12時～

▼内容 当別・新篠津の小・中学生の作品展です。

子どもたちの創意と工夫にあふれた作品がたくさん展示されます。

▼問合せ 当別町学校教育研究推進協議会  
(☎ 26 - 2170)

## 当別観光情報プラザ【FIKA】フィーカ

〔9月のギャラリー〕

はがき絵 布絵展「野に遊ぶ」

▼期間 9月3日(月)～29日(土)

▼展示者 加藤郁子氏

初めての絵手紙教室

▼日時 9月18日(火) 10時～

▼参加費 100円(ハガキ、材料費)

▼定員 15名

▼講師 加藤郁子氏

▼申込期限 9月15日(土)

▼申込先 FIKA (☎ 27 - 5388)

フラワーアレンジメントレッスン

「心豊かなスロースペース～花と灯り～」

▼日時 9月25日(火) 14時～

▼内容

当別の花を主役にしたフラワーアレンジメントレッスンです。終了後、紅茶とお菓子のフィーカタイムをキャンドルの灯りと花でゆったりと一緒に過ごしましょう。

▼参加費 1,000円(材料費込)

▼定員 15名

▼講師 フラワーコーディネーター 齋藤祥子氏

▼申込期限 9月20日(木)

▼申込先 FIKA (☎ 27 - 5388)

〔情報発信中!〕

ふれあい倉庫とFIKAの情報は町民ポータルサイトのブログで随時更新しています。ぜひご覧ください。

<町民ポータルサイト>

<http://portal.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

▼問合せ ふれあい倉庫 (☎ 27 - 6600)

FIKA (☎ 27 - 5388) 商工課 (☎ 23 - 3129)

続

町長の日記

平成24年8月13日(月)

今月の中旬に庭の木の枝払いをしてもらった。

35年前、我流で庭の設計をした時は住宅は殆どなかったから、風や雪から全体の木を守る為に庭の外郭に2mくらいのエゾ松を植えたのが、今では町道の高圧線より高く伸びてしまったので大型台風がきたら近所に御迷惑をかける事が心配になり造園屋さんに依頼したところ高圧線が怖いと言われ随分大勢の人手と安全対策を取ながら一応無事終了した。

樹齢40年くらいの24本の大木の枝を約半分くらい幹の部分から切り払ったので枝の量は4tトラックに3台分もあったが、驚いた事に落とされた枝に6つも7つも小鳥の巣が作られていた。

エゾ松は枝が混んでいるので巣が作り易く風雨を防いで大きな鳥にも襲われにくいらしい。

庭にスズメやシジュウカラ、稀にキセキレイなどが来ているのはいつも見ていたが、まさかあんなに沢山の見事なほど美しい巣を作っている事は全く気付かなかった。

もう一つ発見したのは、幹の所から太い枝を切られたエゾ松は大量の樹液を出す、まるで止血するように、「まつやに」となって切り口を覆ってしまう。小鳥やエゾ松が素晴らしい習性を持っているのには感心した。

当別には林間キャンプ場や学習キャンプ場のある立派な「道民の森」があるのに、私は大人になってからはキャンプを体験したことがないから森や木の事に知識不足だったと思い知った。

道民の森にあるハーブ園、湿生植物園、なんと言っても国際交流の森へも行きたくなった。それに、元気な今のうちにピンネシリや神居尻登山を体験したくなった。

当別町は2300haも町有林があり、1100haくらいは立派な木が生長しているが、最近ではロシアや北欧から安い木材が世界の市場に出回るので、当別町の間伐材などは値段が安くて余り収入にはならないから、残りの町有林の植樹や管理にはちょっと苦戦している。

日本は木の国だからもっと木を育てる事を真剣になってくれるように沢山の人の手を道民の森へ案内して下さい。

と家の廻りの小鳥たちが云っているような気がしてきた。

当別町長 泉亭俊彦